

## クラブ協議会（新委員会協議会）

クラブ協議会が行われました。

令和5年5月24日（水）



### 例会記録 2023.5.24（水） 通算 2064 回



ソング 「我等の生業」「四つのテスト」

出席報告	5月10日	会員数39名	欠席者 5名	出席率 85.29%（修正による）
		（この内出席免除者 15名）		
	5月24日	会員数39名	欠席者 4名	実出席者数 27名
		（この内出席免除者 15名）		出席率 87.1%

### ニコニコ報告 Donation

庄司 武  
櫻井 宣孝・志方 正昭・都倉 隆宏  
吉川 弘・内海 薫・村上 則宏  
伊藤 勝之・松下 和雄・大村 裕史  
原 久美

本日は次年度に向ってのクラブ協議会となっております。次年度に向って皆様よろしくお願ひします。

青柳 淳  
すみません、早退します！

小西 文孝  
クラブゴルフ欠席してすみませんでした。  
次回頑張ります。

坂口 嘉久

すがすがしい気候です。皆様日々お体にはご留意を。熱中症には気を付けましょう。

北田 伸一

創業記念日の御祝ありがとうございました。

柿木 國夫・大橋 卓司・矢野 聡  
森本 匡裕  
花をかざりましょう。



### 幹事報告 Secretary

幹事報告 第30回（通算2058回）

1. 地区より、ポリオプラス・ソサエティのご案内が届いております。同じくポリオプラス・ソサエティ登録申込についてのご案内が届いております。
2. 高砂市吹奏楽団より、第40回定期演奏会兼チャリティーコンサートのご案内が届いております。
3. 姫路ロータリークラブより、例会変更のお知らせが届いております。

皆様、回覧致しますのでご確認下さい。  
次回5月31日の例会は各委員会事業報告となりますので多数の参加をお待ちしております。  
以上幹事報告でした。



いろいろな疑問

私がロータリーの徽章（注：英語ではエンブレム）で知っているのは、例会を持ち回りでやっていたので歯車にしたということだけです。私はそれ以上の知識を持っていません。皆さまは他にご存知だったでしょうか。

この機会に徽章の歴史を調べてみました。その結果、徽章に関する説明には相当の誤解と混乱がありました。例えばこのロゴマークが持つ意味は文明と運動であるとか、24の歯車は24時間、24のロータリアンまたは24のロータリークラブを表すなどさまざまです。また6個のスポークは6つの大陸を表す考え方もあります。



ロータリー徽章の変遷

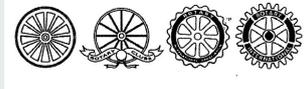
1906年制定 1910年制定 1913年制定 1926年制定

大きく分けると4区分されます（田中毅『ロータリー歴史探訪』）。

1906年制定の徽章はワゴン（荷馬車）の車輪です。当然ながら歯はありません。スポークは13本です。シカゴロータリークラブのモンタークベアが発案したのですが、動きが感じられないという批判が出ました。そこで車輪の両側に雲海を加えました（注：上図にはない）。しかし砂ぼこりと間違われ、かつ車輪の両側に砂埃が立つのはおかしいと言われ、1910年には吹流し状のリボンとなりました。スポークは12本となりました。

1913年制定の徽章はデザインのコンセプトが変わりました。ワゴンの車輪ではロータリークラブの精神を表さないとする意見からです。そこで歯車となりました。この時点ではスポークは8本、歯車は19個です。このデザインはフィラデルフィアロータリークラブで既に使用されていたもので、アメリカで19番目に創設されたクラブなので歯車を19個にしました。

再度批判が起きました。スポークが8本なのはデザイナーの想像の産物で工学的ではない。また歯車19本を均等に配置するのは困難であるとする批判です。そこで1923年にスポークは6本、歯車は24個としました。さらに1924年には歯車の空回りを避けるためにハブ（こしき）に楔穴を作りました。それが1926年制定モデルです。さらに1929年には色彩（ゴールドとブルー）も決定しました。これが現在使用されているものです。なお最初の作者であるベアは1935年に新しいデザインを提案しました。それは創設者数を表す4本のスポークと初年度の会員数を表す15の歯車から成り立っていました。



このマークは何を意味するか

ポールハリスは、回転する車輪は、文明（Civilization）と運動（Movement）を表すと言いました。多分文明開化運動を意味したかったのではないかと推測します。この説明を今でも時々見ますが、現在の意味付けとしてふさわしくありません。

1913年の徽章は歯車が回転するパワーを表しています。さらに楔穴を加え、空回りしない動力を歯車に伝えることができるので、アクティブパワー（活力）を意味します。歯車24個の意味付けとして1日24時間いつもロータリー会員が連携して働き、世界を変える力強い力が生まれるとする説明があります。しかしフィラデルフィアロータリークラブで19個の歯車を配したのは19番目のロータリークラブを意味しました。そこで一番説得力のある説明として、歯車は個人ではなくロータリークラブを表しているとする考え方です。ロータリークラブが連携し協働して奉仕の理想を実践する力となると考えます。

私に残された疑問

いろいろな意味付けがありますが、私の知る限りどれも正解とは言えません。私の知る限り、国際ロータリーが公式見解を示していないからです。そこで私の最終結論は、ロータリー活動が始まった最初の20年間でたまたま今のように落ち着いたと思われる。

一方、私は1906年制定の徽章で、なぜスポークが13本なのか気になっています。一般に13は不吉な数字といわれています。しかし必ずしもそうではないようです。アメリカでは13をモチーフにしたデザインが国章（国璽）、国旗、ドル札などに使われています。さらに遡って旧約聖書で13は、愛を表す数字といわれています。初期のロータリークラブの徽章で、なぜ13個のスポークが描かれたのか私には分かりません。何か深い意味が隠されているのでしょうか。

高砂RCとの合同ゴルフコンペ



5月21日（日）

於：加古川ゴルフ倶楽部



◆ プログラム予定 ◆

6月 7日（水）	各委員会事業報告（先週の続き）
6月 14日（水）	会長、幹事退任挨拶 ガバナー補佐訪問
6月 24日（土）	創立記念例会（21日分）しのべクラブ【親睦委員会担当】
6月 28日（水）	休会【定款第7条第1節（d）による】

●●● 近隣クラブインフォメーションは、高砂青松ロータリークラブのホームページにてご確認ください。 ●●●

会長 庄 司 武 幹事 藤 井 宏 行 クラブ会報・広報・記録委員長 森 本 匡 裕

例会日時 毎週水曜日 12：30 例会場 高砂商工会議所会議室（2F）

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話（079）443-0500